

# 専念寺通信

9月号 (NO.169) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

大変な猛暑の八月が終わり、ようやく朝晩、秋めいて参りました。大雨による大きな土砂災害があり、各地で記録的な豪雨のあった今年の夏でした。皆さま、おかわりなくお過ごしですか。「通信」9月号をお届け致します。

## ☆秋の彼岸

今年も、早いもので、もう秋のお彼岸の季節が参りました。彼岸のお中日が9月23日、この日を挟んだ一週間がお彼岸です、お中日はカレンダーには秋分の日と書かれています。彼岸のお中日は昼の長さと同様に夜の長さが同じになります。この日をさかいに、夏から秋へと季節は移りかわっていくのです。お中日、太陽は真東からのぼり、真西に沈みます。太陽の沈んでいく真西に西方十萬億土の極楽浄土があるとされています。彼岸とは、この極楽浄土を思い描き、煩惱に満ち満ちたこちら側から、安らぎと平穩に満ちたむこう側へ往生できますようにと祈る期間と考えることができます。また**六波羅蜜**と呼ばれる6つの徳目を実行に移す、いわば修養の期間として考えることもできます。

1. **布施** (ふせ) 与えること。財施 (ものを施す)・法施 (真理を施す)・無畏施 (恐怖を取り除き安心を与える)
2. **持戒** (じかい) 戒律を守ること。
3. **忍辱** (にんにく) 苦



難に堪え忍ぶこと。

4. **精進** (しょうじん) 真実の道をたゆまず実践すること。

5. **禅定** (ぜんじょう) 精神を統一し安定させること。

6. **智慧** (ちえ) 真実の智慧を得ること。

このような戒律をすべて守るなど、とても無理と誤ってしまいがちです。けれど、**1.** は、ちょっとした時に、電車で席をゆずる、赤ちゃんを連れている人を補佐する、失敗した仲間や同僚に笑顔で対する、それでも良いのです。**2.** は、自分で、賭け事をしない、酒を飲みすぎない、衝動的に買い物をしない、自分でルールを作っても構いません。**3.** は、つらい状況をいつとき堪えることです。じたばたしても大騒ぎしても仕様の無いことに出会ったら思い出しましょう。**4.** は、何歳になってもどんな状況でも本当のことは何かをあきらめずに考え続けることです。真実は大きな文字には書かれていないことがあります。新聞でも図書館の本でも、少し丁寧に読むだけで、何か分かることがあります。**5.** は、気持ちをおへその下にすんと落として落ち着くことです。心ない噂や暴言左右されず、静かにそれらを通り過ぎさせることです。**6.** は、学びとも言え換えられます。いくつになってもいつでも智慧をつけ大切に心にしましましょう。あなたの心の仕舞ったものは一生のあなたの財産です。つらい局面で必ずその智慧があなたを助けてくれます。この**6つの徳目**自体を少しずつ実行することで、それはいつかあなた自身を救うことになるのです。先人は実に立派なひとつの哲学を持っていました。生きる工夫を持っていました。秋彼岸、皆さまをお待ち致しております。

平成26年9月1日 大黒

